



## エグゼクティブサマリー

# 金融業界： ネイチャーポジティブな未来 に向けた優先的アクション

2023年9月

## はじめに

自然は私たちの社会と経済を支えており、世界のGDPの半分以上は「自然に対して中程度または高度に依存している」と推定されている。一方、人類とすべてのセクターは、基本的には、自然と自然が生み出すきれいな空気や清潔な水、栄養豊かで健康に良い食品に全て依存している。したがって、自然の価値を過小評価し、自然を守るよりも悪影響を与える活動への支援を続ける金融機関は、その結果として自身が大きなリスクと機会損失を被る可能性がある。また、地球と人々の未来を損なう活動に資金提供した責任を問われるリスクも抱えている。

自然に悪影響を与え、ひいては人間資本の健全性や生産性を損なうようなビジネス慣行への投融資は、金融セクターの成長と評判をますます脅かしている。年金ファンドなど、長期的な視野を持って活動する金融機関は、人と自然が共生できる世界に資金提供するという特別な責任を負っている。

したがって、融資判断における自然への配慮や、自然に悪影響を与える資金フローの低減、自然に良い影響を与える資金フローの増加は、持続可能な未来を確保するために不可欠である。また、**IPCC第6次評価報告書**に明確に示された自然と気候の相互関係を考慮すると、金融セクターの気候と持続可能な開発目標を達成するためにも、この取り組みは不可欠である。

現在行われているサステナビリティ関連の取組みを補完するために、金融機関は「**評価、コミット、変換、開示**」(ACT-Dという自然に関するハイレベルの行動)を始める必要がある。金融機関は自然の価値を認識する必要がある。具体的には、融資活動における自然への影響と依存を評価し測定すること透明性があり期限付きの科学的根拠に基づいた目標を設定すること、主要な影響と依存に対処するための行動をとること、パフォーマンスやその他の関係する自然関連情報を公開することである。

このエグゼクティブサマリーは、自然に対する主要な影響と依存について説明する。重要なことは、**昆明・モントリオール生物多様性枠組の中核ミッション**である、**2030年までに官民の資金の流れを生物多様性の目標やターゲットと整合させ、自然の喪失を食い止め、逆転させるために、金融機関が必要な役割を果たすことを確実にするため、金融機関のリーダーたちが今まさに取るべき優先的な変革行動を定めること**である。

### 本書の範囲

金融業界(SICSコード:FN)には、アセットオーナー、アセットマネジメントおよび保管業務、商業銀行、消費者金融、保険、投資銀行業務および仲介業務、住宅ローン融資、証券および商品取引所が含まれる。

## 自然関連の影響

金融機関は、自身が依存している生態系を保護、強化し、ネイチャーポジティブ経済への移行を支援するために、自分たちの自然に対する直接的な影響を評価、緩和する必要がある。そして、より重要なのは、金融機関が他の事業活動への投資を通じて引き起こしている負の影響であり、これが彼らにとって最も重大な自然への影響をもたらしている。具体的な影響は、企業の種類やセクターによって異なるが、概ね以下の要素を含む。

- **土地と海洋の利用の変化** - セクターのバリューチェーン全体にわたる多くの事業活動は、例えば森林伐採、建設、輸送などによる海や土地利用の変化の結果、植物、動物、土壌、淡水、栄養資源の劣化、分断または破壊という結果をもたらす。
- **天然資源の過剰収奪** - セクターを問わず企業による活動の多くの割合が、再生可能な天然資源の過剰収奪につながり、資源を再生/補給する能力に影響を与える。例えば、木材のための過剰な伐採は、現地での生息地や生態系を破壊し、天然更新を妨げ、生物多様性の喪失に寄与する可能性がある。

- **汚染** - ほとんどの経済活動は、自然や人間に有害な量の物質を環境に放出することになる。これには、化石燃料の燃焼による二酸化炭素、産業プロセスによる有毒な化学物質、農業排水による窒素やリン酸のような過剰栄養物などの汚染物質が含まれる。
- **気候変動** - 化石燃料の燃焼、森林破壊、湿地や泥炭地の劣化、または廃棄物の生成は、温室効果ガスの放出を通じて地球の気候変動を加速させている。これは、自然のあらゆる領域に影響を及ぼし、前例のないほどの数の種を脅かす温暖化や異常気象を引き起こす。
- **侵略的外来種** - グローバル化された事業では、定着することで生態系を著しく改変、破壊する外来種の侵入が頻繁に発生する。例えば、農産物、天然資源、輸入土壌や船舶によるバラスト水などに「密航者」が誤って混入することなどがあげられる。

これらの影響により、投資先企業は、新たな規制、法的措置、市場シェアの低下につながる評判の低下、消費者主導の不買運動など、さまざまなリスクにさらされる可能性がある。

## 自然関連の依存

金融機関のポートフォリオがどの程度自然に依存しているかは、その金融機関が資金を提供する事業の組み合わせによって決まる。<sup>1</sup>しかしながら、多くの投資先企業が直接またはサプライチェーンを通じて、機能し成長するために依存している生態系サービスには、いくつかの共通した特徴がある。<sup>2</sup>

- **供給** - ビジネスは、農産物、野生の捕獲魚、野生の収穫物、淡水、化石燃料、素材や鉱物など、天然資源に依存している。
- **規制およびメンテナンス** - ビジネスは、洪水、侵食、汚染、害虫や猛暑のような潜在的な脅威を規制することで、リスクを軽減するために自然に依存している。また、土壌形成や廃棄物分解といった他のサービスの提供を支援する自然の能力からも恩恵を受けている。

- **社会面・文化面** - ビジネスは自然の美しさやウェルビーイングの質（例えば観光や医療）といったサービスから恩恵を受けている。

これらの依存関係は、自然の保護と回復に金融業界が投資するビジネスケースを強化する。これらの依存関係に関連するリスクのレベルは、特定のビジネスが問題の生態系サービスにどの程度依存しているか、また、それらのサービスを提供する環境の回復力によって決まる。<sup>ii</sup>



<sup>i</sup> 例えば、最近の世界銀行の報告書では、「新興市場の銀行は与信ポートフォリオの約半分を1つ以上の生態系サービスへの依存度が高い、または非常に高い企業に割り当てている」と指摘したうえで、これらの銀行がこのような生態系サービスの悪化にどれ程大きく晒されているかを強調している。(Biodiversity and Finance: A Preliminary Assessment of Physical Risks for the Banking Sector in Emerging Markets, Calice et al, World Bank Policy Research Working Paper 10432, 2023).

<sup>ii</sup> 例えば、織物製造業者は清潔な水を手入れできるかどうか大きく依存する、一方で、農業生産者は土壌の健康状態に大きく依存している。サービスを提供する環境の回復力も重要な変数である。例えば、地滑りによって繊維企業への水供給が中断される頻度や、食品生産者のサプライヤーが使用する土地がどの程度過剰利用されているかなどがあげられる。

## 優先行動および機会

金融業界セクターは、ネイチャーポジティブな未来を形成する上で、自分達が自然に与える負の影響と、資金提供する企業が与える負の影響のいずれも制限するという、二重の責任を負っている。セクター代表として、金融を通じて直接または間接的に与えている負の影響を低減し、自然に関連するリスクを軽減し、また、次の5つの重要な**変革行動**を優先することによってビジネスチャンスを広げることができる。

### 準備<sup>iii</sup>

- 1.自然に対して行動するための社内キャパシティビルディング** - 自然関連リスクを理解、評価、対処するためのチームのスキルに投資すること、増え続ける外部ツールやガイドラインを使いこなす能力を養う。パイロットプロジェクトを活用して、ネイチャーポジティブな未来に向かって進むために必要な内部方針やシステムをテストする。始めは「クイックウィン」に焦点を当てる。つまり、自然関連リスクと機会が最も大きく、それに対処する時間とコストが最も少ない分野に集中する。
- 2.自然に優しい融資方針、戦略、移行計画の策定** - 可能な限り、既存の気候関連計画と統合されネイチャーポジティブな未来にどのように貢献するかを示す、期限付きで包括的な移行計画を策定する。これには、森林破壊や汚染のような自然損失の特定の原因に対処する野心的な戦略の導入が含まれ、適切な場合には、セクター別、ロケーション別、資産クラス別の政策も含む。自然に悪影響を与える資金の流れを減らすための排除政策を検討し、他方で、自然に良い影響を与えるビジネスモデルへの投資を拡大させる。これには、自然に基づく解決策(NbS)だけでなく、自然回復を促進するためのブレンドファイナンスやラベル付き債券などの革新的な金融ソリューションの普及を含む。同時に、これらの方針が遵守されていることを確認するためのモニタリングと管理報告メカニズムを確立し、目標達成に向けて執行サイドおよび監督サイド双方における責任を明確にする。

### 実行

- 3.リスクマネジメントシステムに自然を組み込む** - 自身が資金提供またはサービス提供している企業についての自然関連の影響と依存を評価するためのメカニズムを確立する。新たな金融関係をスクリーニングし、それらの関係全体の自然のフットプリントを定期的に評価するプロセスを構築する。この情報を既存のリスク管理プロセスや管理報告システムに統合し、自然と気候変動に対する統合的なアプローチを開発する。被投資企業や借入企業が、自然関連財務開示タスクフォース(TNFD)に沿った自然関連情報を開示することを支援し、戦略立案、リスクマネジメント、アセットアロケーションの意思決定に活用できるようにする。
- 4.強固な自然関連の報告システムを開発** - TNFDが開発したようなフレームワークを使用して、可能であれば、既存の気候関連システムを基盤として、現在および今後予想される内部、外部(規制や顧客関連)の要求事項をサポートするために、影響、依存、リスク、機会を全て網羅する報告システムを設計、構築する。

### サポート

- 5.自然への影響が大きく、自然リスクの高いビジネスへの取組み** - 投融資ポートフォリオに含まれる企業(または他の金融業界が提供されている企業)と関わりを持ち、自然への影響やリスクが高いと評価される企業から着手する。自然関連リスクに対処し、バリューチェーン全体を通じた生物多様性に対する影響を低減、逆転させ、自然にポジティブな影響を与える活動を増やすための目標や戦略を策定するよう期待する。企業特有のリスクを調整、緩和し、潜在的な自然関連の投資機会を探求する。可能であれば、議決権行使や株主決議を通じて影響力を活用し、行動を促す。

重要なことは、これらの優先行動を実施して、このセクターの方針を転換させるための努力は、従業員、地元コミュニティ、先住民および疎外されたコミュニティなど、影響を受けるグループとの有意義な対話を含め、公正かつ衡平な移行に沿った形で実施されなければならないということである。

優先的な行動を採用することで、企業はグローバルな目標を含む社会的および環境的目標に貢献することができます。生物多様性枠組み(GBF)と持続可能な開発目標(SDGs)。GBF-SDGマッピングを読み、優先的な行動がどのようにこれらの目標に貢献できるかを確認してください。

<sup>iii</sup>「準備」「実行」「サポート」の3つの重要な推奨分野は、以下のロードマップに基づいている。昆明・モンリオール地球規模生物多様性枠組みのハイレベル・ロードマップ(UNEP FI, CBD事務局, UNDP, 世界銀行, FfBF and Finance Montréal, 2023)

## リソース

現在、金融セクターの企業には以下のセクター特有のガイドラインとツールが用意されている。

- [Aligning financial flows with the Kunming-Montreal Global Biodiversity Framework - high-level roadmap](#) (UNEP FI, The Secretariat of the CBD, UNDP, the World Bank, FfBF and Finance Montréal, 2023)
- [Stepping up on Biodiversity](#) (UNEP FI, PRI, and FfB, 2023)
- [Investing in a biodiversity-integrated manner](#) (WEF, 2022)
- [Integrating Nature: The case for action on nature-related financial risks](#) (CISL, 2022)
- [Roadmap: Identification and integration of nature-related risks and impacts in underwriting and insurance brokerage](#) (CISL, 2023)
- [Capitals Coalition: Finance sector supplement](#) (Capitals Coalition, 2016)
- [Banking on Nature](#) (UNEP FI and PRB, 2023)
- [Biodiversity finance reference guide](#) (IFC, 2022)
- [Sustainable Blue Economy Finance Principles](#) (UNEP FI)
- [Guide on engagement with companies](#) (FfBF, 2022)
- [Nature Risk Profile](#) (UNEP, 2023)
- [Indebted to nature. Exploring biodiversity risks for the Dutch financial sector](#) (DNB, 2020)
- [Towards a Robust Measurement of Business Dependencies on Nature](#) (UNEP-WCMC, 2023)
- [Nature in Transition Plans: Why and How?](#) (WWF-UK, 2023年)

### 自然関連の影響、依存、リスク、機会を評価するためのツール

金融機関が特定のポートフォリオに関連する自然関連の影響、依存、リスク、機会を評価するために活用できるツールのリストは増えており、以下のリソースがある。

- [Assessing portfolio impacts: Tools to measure biodiversity and SDG footprints of financial portfolios](#) (WWF, 2021)
- [Guide On Biodiversity Measurement Approaches \(2nd Edition\)](#) (Finance for Biodiversity Foundation, 2022)
- [ENCORE tool](#) - Natural Capital and Biodiversity Modules (Global Canopy, UNEP FI, UNEP-WCMC)
- [TNFD searchable tools database](#)

### The economic case for protecting, and investing in, nature

- [Financing Nature: Closing the Global Biodiversity Financing Gap](#) (Paulson Institute, TNC, Cornell Atkinson Center for Sustainability, 2020年)
- [The Economics of Biodiversity: The Dasgupta Review](#) (HM Treasury, 2021)
- [Global assessment report on biodiversity and ecosystem services of the Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services](#) (IPBES, 2019)

### Organizations and coalitions

以下組織や団体から、有益な情報を提供いただきました。

- [Nature Action 100](#)
- [Finance for Biodiversity](#)
- [TNFD Forum](#)

For additional **sector-agnostic resources**, please refer to Business for Nature's [High-level Business Actions on Nature](#).



## 貢献者とクレジット

作成者(アルファベット順):

**John Willis**, Director of Research, Planet Tracker

**Peter Elwin**, Director of Fixed Income and Head of Food and Land Use, Planet Tracker

謝辞:

貴重な見解をお示くださった多くの主要な学界、業界、NGO、および政府の専門家の方々に感謝します。Accounting for Sustainability、Business for Nature、Cambridge Institute for Sustainability Leadership、Capitals Coalition、CDP、Climate Catalyst、EOS at Federated Hermes、Finance for Biodiversity Foundation、Forum for the Future、Global Canopy、Legal & General Investment Management、Little Blue Research、Sustainable Finance Geneva、The Nature Conservancy、the UN Environment Programme Finance Initiative、UN Environment Programme World Conservation Monitoring Centre and the World Benchmarking Alliance.

---

## 参考文献

<sup>1</sup> [The Future of Nature and Business](#)  
(World Economic Forum, 2020)

<sup>2</sup> [Definitions of Nature](#)  
(Taskforce on Nature-related Financial Disclosures, 2023)

